



決算説明動画配信のご案内

当社のYouTubeチャンネルにて、2024年3月期決算説明動画を配信しております。ホームページのリンクまたは下記二次元コードからご視聴可能です。

アクセス方法

パソコンから

<https://www.nichidai.jp>



スマートフォンから

二次元コード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、右記からアクセスいただけます。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 期末 3月31日
中間 9月30日

公告方法 電子公告
当社ホームページ(<https://www.nichidai.jp>)にて掲載

単元株式数 100株

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社
口座管理機関

同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

本社 TEL. (0774) 62-3481 (代)

ニチダイグループの詳しい情報については、右記二次元コードからホームページでご覧いただけます。

<https://www.nichidai.jp>



NICHIDAI REPORT



証券コード 6467

Vol.45 | 2024年3月期
2023.04.01~2024.03.31





変化をもたらす 決意と行動。

変化が求められる時代のなか、
中期経営戦略「CHANGE～ニチノバージョン2026～」を
着実に前へと進め、企業価値の持続的向上につなげていきます。



代表取締役社長 執行役員 伊藤 直紀

当期業績の概況 / 厳しい経営環境に耐える日々を超えて

2024年3月期(2023.04.01～2024.03.31 以下、当期)は、長期化するウクライナ問題や円安の為替相場による原材料、エネルギー価格の高止まり、中国における経済減速など世界経済の先行き不透明な状況が続いたため、第2四半期終了時には計画修正を余儀なくされました。株主の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

第3四半期より当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業では、供給改善に伴い好調に推移し、国内、海外とも前年を上回るようになり、当社グループの業績にも回復の兆しが表れ始めました。そのようななか、コスト抑制策などの効果も表れ、通期では経常利益ベースで黒字化を達成しました。

▶ 当期修正計画、当期実績及び次期の見通し

(百万円)

	2024.3 修正計画 (2023年10月発表)	2024.3 当期実績	2025.3 次期計画 (2024年5月発表)	伸び率
売上高	11,200	11,323	11,900	5.1%
営業利益	▲330	▲42	80	-
経常利益	▲255	64	100	54.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲300	44	50	11.1%

※ 百万円未満は切り捨て

次期の見通し / 回復の兆しを確実に形に変えて

当社グループは、新たな価値を創造し社会に貢献するという経営理念を推進するため前期スタートした中期経営戦略「CHANGE～ニチノバージョン2026～」のもと、業績回復の兆しをさらに確かなものとするため、さまざまな施策に着手しています。自動車産業ではEVの販売台数の成長スピードが鈍化する兆候が見られるものの、電動化シフトの傾向に変わりはなく、次年度もほぼ同水準の生産台数で推移することを予想しております。

このような状況のなか、次期における金型事業及び精密部品事業では、前述の自動車産業の動向を踏まえ、売上高が微増となる見通しです。一方、フィルタ事業では、主要ユーザー向けの増加を見込んでおります。

以上を総合した次期の見通しにつきましては、連結売上高119億円(前年同期比5.1%増)、営業利益8千万円(前年同期は4千2百万円の営業損失)、経常利益1億円(前年同期比54.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5千万円(前年同期比11.1%増)を見込んでおります。

中期経営戦略の進捗 /

中期経営戦略は、「CHANGE① VSOP精神*での顧客価値創造、CHANGE② 社員が輝き続ける会社づくり、CHANGE③ 持続可能な社会への貢献」の3本柱の施策で着実に進捗しています。グローバル戦略ではニチガイタイランドを2024年3月25日より完全子会社化し、金型事業、精密部品事業各々における販路拡大及び新事業開発を機動的に行う

*:VSOP:Vitality(活気・生命力)、Specialty(専門性・技術)、Originality(独創性・創意)、Passion(情熱)の頭文字。当社の創業から受け継がれている精神。当社の経営ビジョンに含まれている。

世界経済が不透明ななか、さらなる収益性改善へ取り組み

当社グループは、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としています。この方針に基づき、期末配当は2円とし、中間配当4円と合わせ、当期の年間配当金は計6円とさせていただきます。また、次期の配当につきましては、中間2円、期末4円の年間6円を予定しています。

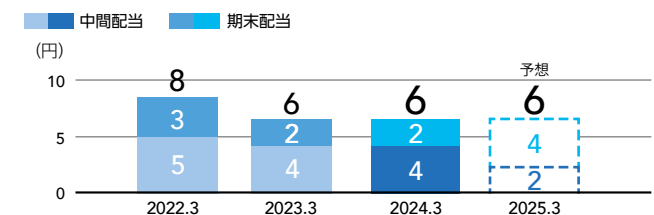
ここ数年は、自動車市場が大きく落ち込み、当社グループにとっても厳しい状況が続いてきました。そのなかで、アジアへの拡販、技術開発のシナジーなど、「CHANGE～ニチノバージョン2026～」の取組みを推進しております。次期に

体制を整えています。また、人的資本経営の取組みとして社員とのミーティング開催などモチベーションアップを図る施策を実行しております。さらに、社会から必要とされる企業として次世代社会への貢献を果たしていくために、12のマテリアリティ(重要課題)を決定し、取組みを開始しています。

▶ 詳細は5頁からの特集をご参照ください

においても、世界経済が不透明な状態となっておりますが、収益性を高める取組みを続けてまいります。今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

▶ 一株当たりの配当金



3つの事業を展開

金型事業

Precision Dies Business

高精度な自動車部品をつくる「金型」をトータルサポート

一発のプレスで
材料を複雑な形状に加工

材料 → 鍛造 → 部品

高精度 省資源 高強度

金型
工程設計から金型生産・部品製造までのトータルエンジニアリングを提供

トータルエンジニアリング

- 営業
- 設計
- 金型製造
- 周辺技術の提供
- 部品製造
- 研究開発

精密部品事業

Precision Parts Business

金型のノウハウを活かし、部品の量産から組立まで幅広く対応

金型のノウハウを活かした鍛造部品の量産
ターボチャージャー部品の組立

エンジン関連部品 エアコン用部品 EV車対応部品

ターボチャージャー トランスミッション 駆動関連部品

スクロール鍛造品
独自技術である「背圧機構」を使って鍛造し、押し出し部の高さが均一になることなどが特徴

ターボチャージャー部品
ターボチャージャー部品の組立て顧客企業の現地調達ニーズに対応

フィルタ事業

Filter Business

過酷な条件でも使える金属フィルタをさまざまな産業に提供

ステンレスの金網を重ねて焼結して加工

ステンレス金網 焼結炉 産業用フィルタ

拡散接合技術で一体化

高強度 耐熱 耐酸性

産業用フィルタ
積層焼結フィルターの生産と顧客メーカーの用途に応じた形状に加工

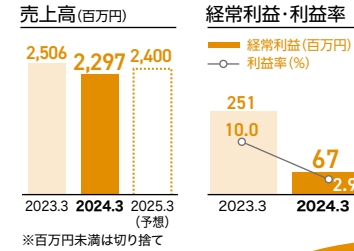
洗浄・再生サービス
フィルターの洗浄・再生サービスの提供

フィルタ事業 Filter Business

事業についてはこちら▶

■当期の概況

中国等の景況悪化の影響などから国内外ともに前年を下回る水準で推移しました。その結果、売上高22億9千7百万円(前年同期比8.3%減)、経常利益6千7百万円(前年同期比73.3%減)となりました。



■次期の見通し

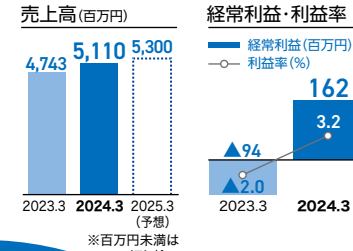
先行き不透明な世界経済の影響が懸念されるものの、さまざまな産業の需要を取り込むことを見込み、売上高は24億円(前年同期比4.5%増)を予定しております。

金型事業 Precision Dies Business

事業についてはこちら▶

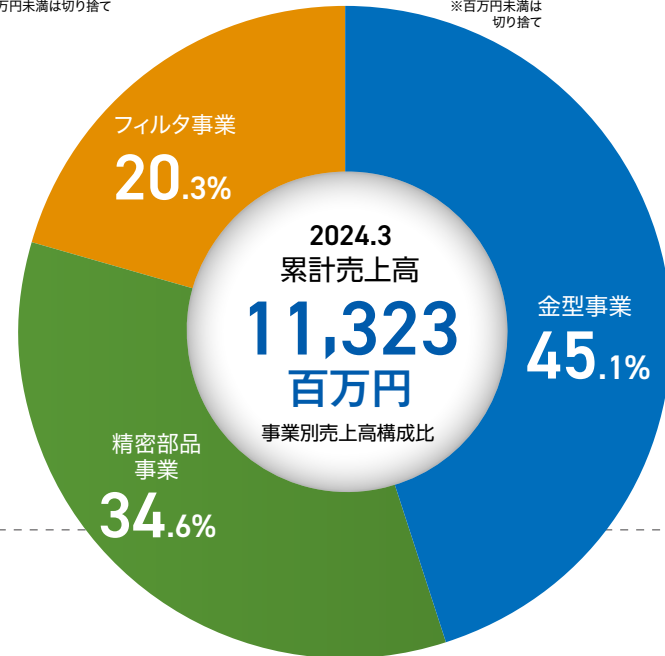
■当期の概況

主要顧客業界である日系自動車産業は、年間を通しては回復傾向となりました。このような状況のなか、金型事業につきましては、国内の主力ユーザー向けが増加したことに加え、海外売上高も増加しました。その結果、売上高51億1千万円(前年同期比7.7%増)、経常利益1億6千2百万円(前年同期は9千4百万円の経常損失)となりました。



■次期の見通し

日系自動車完成車メーカーの生産台数は当期と同水準で推移することが予想されております。そのなかで確実に受注を増加させることを見込み、売上高は53億円(前年同期比3.7%増)を予定しております。



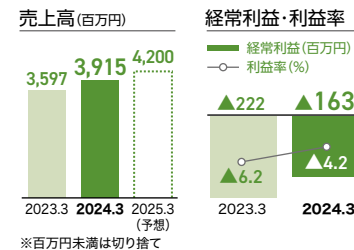
精密部品事業

Precision Parts Business

事業についてはこちら▶

■当期の概況

ターボチャージャー部品の主要機種で復調の兆しが出てきているものの、海外向けが依然低水準で推移している状況が続きました。その結果、売上高39億1千5百万円(前年同期比8.8%増)、経常損失1億6千3百万円(前年同期は2億2千2百万円の経常損失)となりました。



■次期の見通し

以前の売上高水準には届かないことが予想されるものの、増収となることを見込み、売上高は42億円(前年同期比7.3%増)を予定しております。

ニチダイグループの事業、製品の詳細情報については
右記二次元コードからもご覧いただけます。



事業紹介

製品紹介

中期経営戦略 の取組み

2023年3月から推進を開始した「CHANGE～ニチノベーション2026～」当社グループでは「イノベーション」の追求を通じて、経営環境の急激な変化に適応すべくさまざまな施策を展開しております。まずは、当期の取組みと今後の展望をご報告いたします。

※:VSOP:Vitality(活気・生命力)、Specialty(専門性・技術)、Originality(獨創性・創意)、Passion(情熱)の頭文字。当社の創業から受け継がれている精神。当社の経営ビジョンに含まれている。

CHANGE ニチノベーション2026

CHANGE 01

VSOP[®]精神での顧客価値創造

- 事業の成長と収益力強化
- 新事業の創出とグローバル企業への進化

CHANGE 02

社員が輝き続ける会社づくり

- 社員の成長、会社の成長を喜び相互関係の構築
- 社員が誇れる企業への成長

CHANGE 03

持続可能な社会への貢献

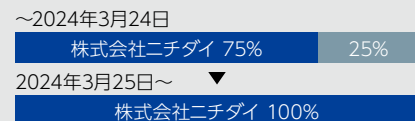
- 社会から必要とされ、選ばれる企業へ
- 次世代社会への貢献

CHANGE 01

ニチダイタイランド(以下、NDTという)完全子会社化でフレキシブルな対応

これまで当社が75%保有していたNDT株式をすべて取得することで完全子会社化しました。NDTは、2008年に設立され、ターボチャージャー部品、精密鍛造品、精密鍛造金型など、各種製品を生産してきました。この度、完全子会社とすることで、機動性を高め、既存製品の販路拡大及び新事業創出を促進していきます。

NDTの所有関係の変化



株式会社ニチダイ



ニチダイタイランド (NDT)

POINT

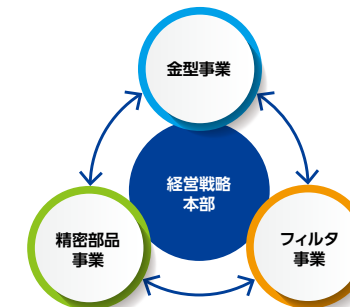
- NDTの将来戦略を自由に設計できる
- 機動的な判断ができる
- 新規顧客の開拓促進
- 新製品・新領域への展開



CHANGE 01 CHANGE 02 CHANGE 03

組織改編で事業横断的な活動を強化

中期経営戦略「CHANGE～ニチノベーション2026～」の実践に向け、新事業開発など事業横断的な活動の展開強化を図るため、経営企画部、新事業開発部を傘下に持つ経営戦略本部を設立しました。これにより、これまで創造、育成してきた鍛造DXなどのシーズを新事業に結びつけるための活動を促進してまいります。また、事業の枠を超えたシナジー効果を狙った施策を推進してまいります。



各部門の方針については次ページ

CHANGE 02

人的資本経営の推進

社員のモチベーションを向上させて、人財の定着と確保を実現し、労働生産性をも向上させていく取組みを実施しています。一例として、トップマネジメントと社員との対話機会を充実させる「タウンミーティング」を適宜開催しています。また、当期導入した新人事制度による目標の明確化や、健康経営の実行により、従業員エンゲージメントの向上を図っております。

これまでの実施事項

2024年3月期は、「人的資本経営」の基盤づくりを行う。

- 1 新人事制度スタート
 - 成長を実感でき、チャレンジを奨励する評価制度導入に改定
- 2 健康経営認証取得に向けた準備
 - 心身ともに健康で、安心し、やりがいと生きがいをもって働ける会社を目指す
- 3 タウンミーティング開催
 - トップマネジメントと社員との双方向コミュニケーションの強化



今後の計画

2025年3月期は、前期の「人的資本経営」の基盤をもとに、「魅力ある職場環境づくり」を行う。

- 1 人的資本経営の推進
 - キャリア自律を実現するための多様な教育訓練プログラム導入による成長機会の拡充
- 2 健康経営の推進
 - 2024年認証取得
 - 多様な働き方への対応強化
 - 各種イベント、セミナーの開催
- 3 中期経営戦略の浸透
 - 双方向コミュニケーションの拡充



CHANGE 03

サステナビリティへの取組み

変化するESGの課題と社内の状況を鑑み、12のマテリアリティ(重要課題)を設定しました。これにより、明確になった課題に対する推進のためのロードマップの作成を行い、着実な推進を行ってまいります。一例として、CO₂排出量削減を目的に、宇治田原工場に太陽光発電を導入しました。

12のマテリアリティ(重要課題)を決定

環境(E)	社会(S)	ガバナンス(G)
GHG(温室効果ガス)排出量削減	人権および地域社会との関係	企業倫理
廃棄物および有害物質管理	製品品質と製品安全	重大事故リスク管理
製品およびサービスのライフサイクルへの影響	従業員の安全衛生	データセキュリティ
材料調達および資源有効性	従業員エンゲージメント、多様性、包摂性	
	サプライチェーンマネジメント	

サステナビリティ(ESG)への取組み

- 宇治田原工場に太陽光パネルを設置
- 重要課題ごとに具体的な取組みを検討
- サステナビリティ推進のロードマップを作成



宇治田原工場



事業責任者に、方針を聞く

2024年4月から新たな組織体制がスタートしました。
ニチダイグループは、今後どのように新しい価値を創造し、成長し続けていくのか。
各部門の役員・責任者が自らの言葉で、今後の方針を語ります。



下岡 健二

執行役員 金型事業本部 本部長

略歴

当社入社後、2年の製造部勤務、営業所で20年以上営業職として従事し、直近2年間新事業開発部の部長を兼務し、2024年4月から執行役員金型事業本部長に就任。



雨崎 裕司

執行役員 精密部品事業本部 本部長

略歴

当社入社後、1年の製造部勤務、営業所勤務を経て、2016年から執行役員 営業本部長に就任。2023年4月、金型事業本部長兼生産本部長に就任。2024年4月から精密部品事業本部長に就任。



中村 篤人

取締役 兼 ニチダイフィルタ株式会社 代表取締役社長
兼 タイ・シンタードメッシュ社長

略歴

2015年4月ニチダイフィルタ株式会社代表取締役社長就任。2016年3月フィルタ事業のタイ子会社であるタイ・シンタードメッシュ社長就任。2023年6月当社取締役就任。現在に至る。



酒井 学

執行役員 経営管理本部 本部長

略歴

2023年6月当社入社後、6月23日管理本部長就任。2024年4月から執行役員 経営管理本部長に就任。

ものづくりの原点に立ち返り、 新しいことに挑戦する

【取り組むべき3つの重点課題】

- ① 鍛造技術の磨き上げと新たな付加価値の提供
- ② 生産性改善のためのデジタル化と新製品開拓
- ③ 原価管理の徹底と製品戦略の見直し

金型事業本部は「取り戻そうクラフトマンシップ」をテーマに掲げました。ものづくりの原点に立ち返り、一人ひとりの感性と誇りを大切にしながら、新たな付加価値創出を目指します。掲げた3つは、端的にいうと、「売りを、をつくる、新しいこと、をやる、原価、をみる」ということです。ものづくり本質を貫きながら、時代の変化に柔軟に対応してまいります。

量産事業のノウハウ集約と シナジーの創出

【取り組むべき3つの重点課題】

- ① 新規顧客・新規受注 (EV関連部品) の獲得
- ② 管理基盤のさらなる強靱化 (収益力強化)
- ③ NDT完全子会社化による新領域への拡販推進

2023年4月にアセンブリ部門と精密鍛造部門の統合によって生まれた精密部品事業では、量産ノウハウを一元化し、シナジー効果を最大限に発揮できるように取り組んでいます。将来のグループを支える柱をつくり上げるため、技術力と開発力を武器に、新たな需要に果敢に挑戦していく考えのもと、上記に掲げた3つの取組みを推進してまいります。

組織・社員の強みをさらに引き出し、 3Nをグローバルに展開

【取り組むべき3つの重点課題】

- ① 3N (New Application, New Market, New Product) を Globalに拡大推進
- ② エンゲージメントの高い組織へ ポジティブアプローチによる変革
- ③ 持続可能な社会への貢献による製品開発の継続と提供

当事業の強みはコアな技術である焼結技術を活かした高性能フィルターにあります。産業分野をはじめ、公害防止関連の分野まで幅広く利用されています。今後も新用途、新市場、新製品の「3N」をグローバルに推進し、アセアン諸国に加えインドへの展開を強化。また、中国市場の動向には機動的に対応していきます。当社の強みや価値に焦点を当てるポジティブアプローチにより組織をさらに成長させ、社会へ貢献できる製品開発の継続と提供を推進してまいります。

データドリブン経営を目指し 意思決定・判断を改善

【取り組むべき3つの重点課題】

- ① データドリブン経営の実施
経営責任者に対する羅針盤的な役割を果たす
- ② 人的資本経営・健康経営の強化
社員のモチベーション、労働生産性向上、人材の定着と確保
- ③ 組織風土改革
「個人の自己実現」と「会社の成長」の好循環を創出

経理・人事・ITのさらなる強化を目的に、「管理本部」から「経営管理本部」に名称を変更しました。経営をさらに強く意識した部署へと変革を果たし、多岐にわたる顧客課題へ対応していきます。全社的なビジネス力・データサイエンス力・データエンジニアリング力を強化し、データドリブン経営を通じた迅速な経営判断や的確な意思決定の実現を目指します。



JAXA 岡田理事(右から2人目)と当社社員

TOPICS 1

宇宙航空研究開発機構(JAXA)からH3ロケット感謝状を贈呈されました。

当社子会社ニチダイフィルタ株式会社は、2月17日に打上げに成功したH3ロケットへの貢献が認められ、宇宙航空研究開発機構(JAXA)から感謝状を贈呈されました。H3ロケットは、H-IIAロケットから技術革新と大幅なコスト低減の両方を実現した機体で、エンジンへの異物侵入を防ぐフィルター等を納入しております。この度、ディフューザーASSY及びScreen(製品名称)をはじめ、複数部品の開発、取組みを評価いただきました。

当社グループは、1980年のJAXAの前身である東京大学宇宙研究所との開発から長年ロケット開発に携わってきました。今後も、さらなる技術向上を図り、フィルタ事業の拡大に努めてまいります。



TOPICS 2

インターモールド2024/金型展2024に出展しました。

当社は4月17日～19日、インテックス大阪にて開催されたインターモールド2024に出展しました。インターモールドは、2年に1回「東京・大阪・名古屋」のいずれか2箇所で開催され、金型技術が集結した「金型展」と、プレス加工に関連した「金属プレス加工技術展」も同時開催される、金型技術の大規模展示会です。

当社は、鍛造DX(デジタル技術を活用した鍛造におけるものづくりの変革)を実現するために、インテリジェントダイセットと、ものづくりマネジメントシステムを開発中です。そのデモ機と、その他、従来の鍛造とは一線を画した新しい取組みのサンプル品(新型バッテリーケース等)を展示しました。

今後も展示会等を通じて、新規顧客開拓と今後の事業発展に有利な情報を収集し、当社のさらなる成長につなげてまいります。

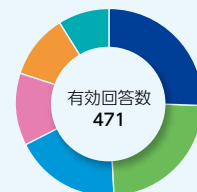


株主さまアンケート結果

たくさんのご回答、ありがとうございました

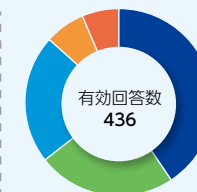


2023年12月に発行した株主通信(Vol.44)で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答をいただきました。下記に、アンケート結果の内容を、一部ご紹介いたします。



当社についてもっと知りたい情報

■ 研究開発 25.7%	■ 各事業概要 12.5%
■ 製品情報 23.6%	■ 財務情報 11.0%
■ 経営方針 18.5%	■ 会社概要 8.7%



当社に対してのイメージ

■ 安定性がある 40.83%	■ 情報開示に積極的である 7.11%
■ 研究開発力がある 23.62%	■ 革新的である 6.19%
■ 成長性がある 22.25%	

ご意見 Q&A コーナー



EVだけにとらわれない金型作りを期待しております。



当社の金型は内燃機関向けが主力ですが、昨今の自動車産業のEV化への対応のため、EV向けはもとより、並行して自動車分野以外の金型の受注活動も行っております。今後も当社の領域拡大に努めてまいります。



レポートはかっこよく、興味深く読みました。しかし、利益がついてこないのは心配です。収益体質の改善を早急にすべきと感じます。



レポートをお読みいただきありがとうございます。EV化や世界情勢の影響、また、円安によるコスト増などにより、当社収益は悪化しておりますが、経常利益ベースで黒字化しました。引き続き、当社の強みを活かす受注活動を推進し、さまざまな施策を実行して収益体質の改善に取り組んでまいります。



今後も株主アンケートの実施と紙媒体での株主通信の送付の継続をお願いいたします。

株主通信のペーパーレス化。Webで見たいです。



最近、紙媒体を廃止し、デジタル配信のみとする企業さまが増加しています。当社もWebページに本誌を掲載しております。一方で、お手元に届くことをご覧いただきやすいというご意見もいただいております。現在のところ、紙媒体での送付も継続しております。ペーパーレス化も念頭に株主さまのご状況に応じて対応を検討してまいります。



いい人材の確保が会社の成長につながります。人材への投資をお願いします。



会社の基盤は社員であることを認識し、2024年度はさらに社員への投資を増加させ、自己研鑽の機会を拡充し、成長を促す施策などを講じております。今後も投資を継続し、会社の成長につなげるよう取り組んでまいります。

株主さまアンケート ご協力をお願い

当社では、今後の経営やIR活動に反映させていただくため「株主さまアンケート」を実施しております。ご意見、ご感想を同封のアンケートハガキまたは二次元コードを読み込み、ご記入いただけますようお願いいたします。

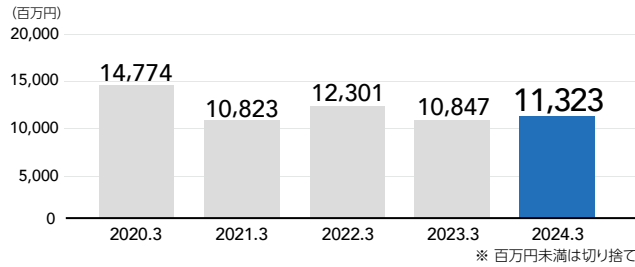


アンケートにご回答いただきました株主さまより **抽選** で **QUOカードをプレゼント**

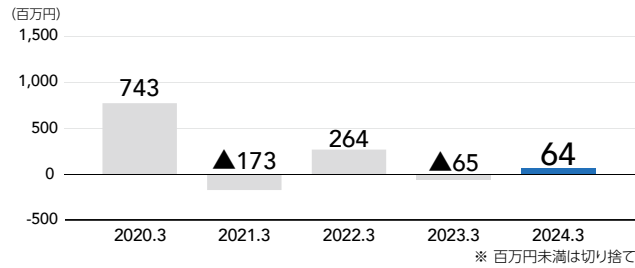
*当選者の発表は、QUOカードの発送をもって代えさせていただきます。

プレゼント対象期間:2024年9月末まで/アンケートは9月以降も実施しております。

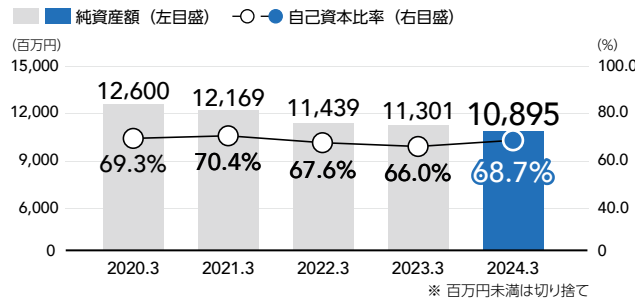
売上高



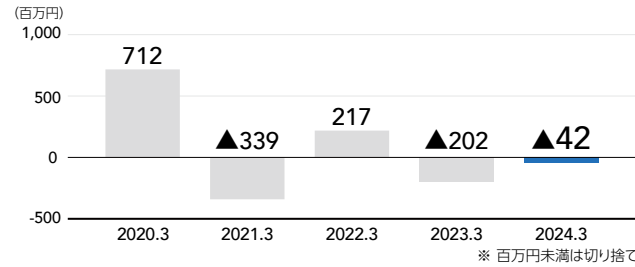
経常利益



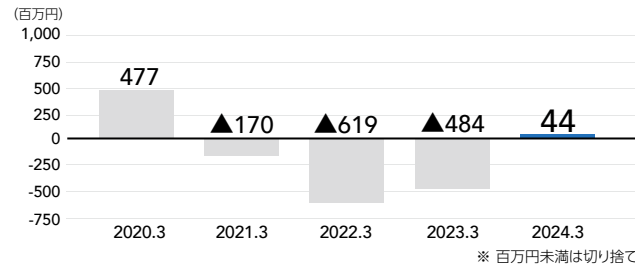
純資産額/自己資本比率



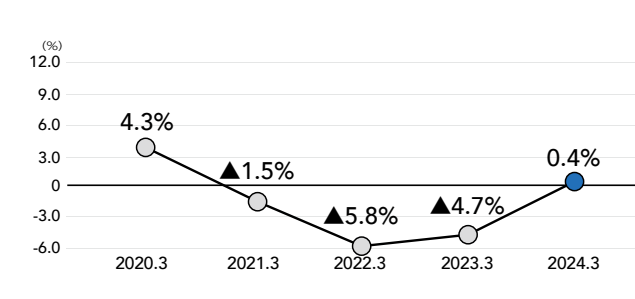
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

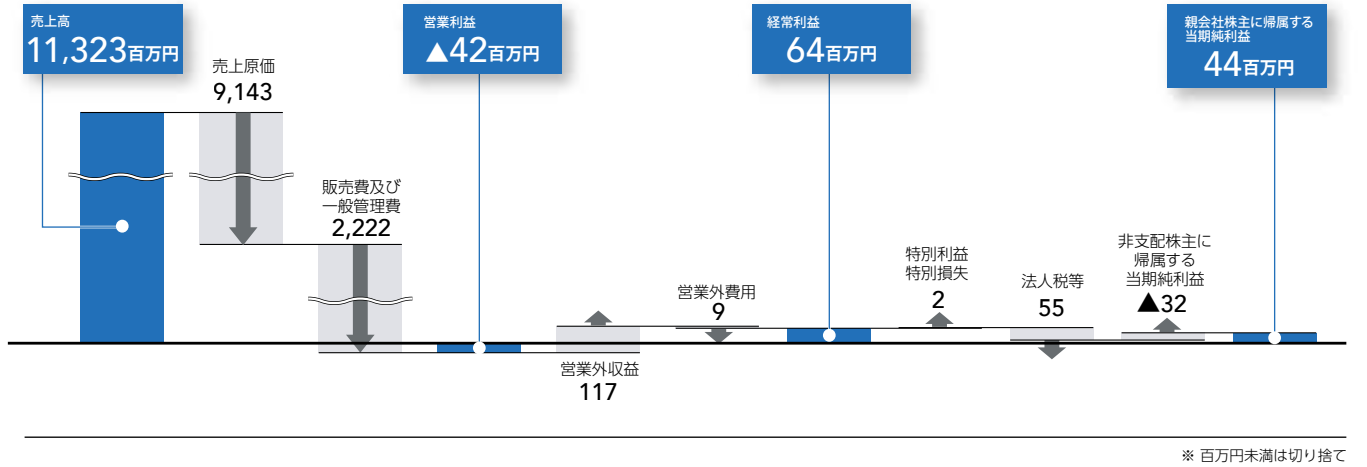


ROE(自己資本利益率)

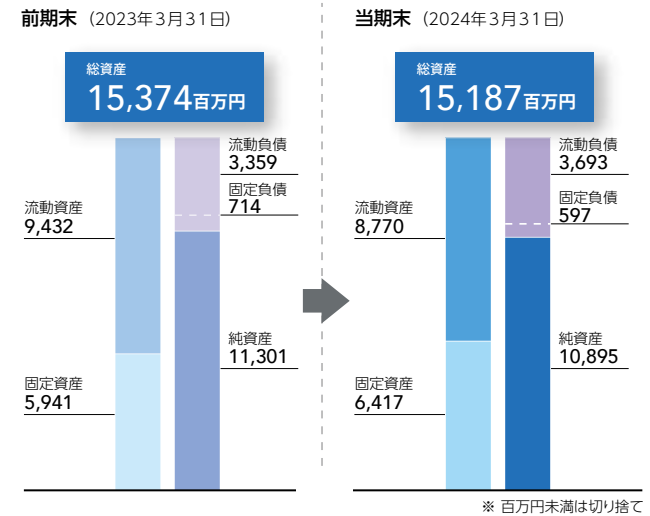


連結損益計算書

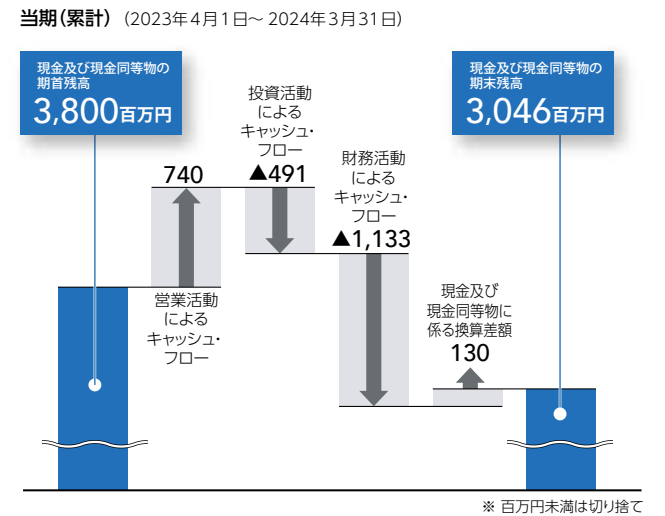
当期(累計) (2023年4月1日~2024年3月31日)



連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書



国内の主要な事業所 (2024年3月31日現在)

- ① **本社・京田辺工場**
京都府京田辺市新北町田13
- ① **宇治田原工場**
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- 熊谷営業所**
埼玉県熊谷市桜木町2-88
- 京都営業所** (宇治田原工場敷地内)
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- 浜松営業所**
浜松市中央区高丘西3-12-3
- 岡山営業所**
岡山市北区今8-8-8
- 名古屋営業所**
名古屋市中東区高社2-127
- 熊本営業所**
熊本市東区長嶺南1-1-7

- 金型事業
- 精密部品事業
- フィルタ事業

関連会社 (2024年3月31日現在)

- ② **ニチダイフィルタ株式会社** (宇治田原工場敷地内)
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- ③ **NICHIDAI (THAILAND) LTD.**
700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand
- ④ **THAI SINTERED MESH CO., LTD.**
Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand
- ⑤ **NICHIDAI U.S.A. CORPORATION**
1446 Reynolds Road, Suite 303, Maumee, OH, 43537, USA
- ⑥ **NICHIDAI ASIA CO., LTD.**
700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand



本社



京田辺工場



宇治田原工場



NICHIDAI (THAILAND) LTD.



THAI SINTERED MESH CO., LTD.

会社概要 (2024年3月31日現在)

社名 株式会社ニチダイ
(英文表記) NICHIDAI CORPORATION
証券コード 6467
本社所在地 京都府京田辺市新北町田13
創業年月日 1959年5月5日
設立年月日 1967年5月1日
資本金 14億2,992万円
従業員数 346名(単独)
649名(連結)

株式の状況 (2024年3月31日現在)

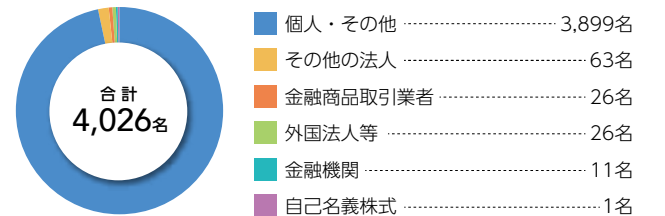
発行可能株式総数 15,500,000株
発行済株式の総数 9,053,300株
単元株式数 100株
株主数 4,026名

大株主	株主名	持株数	持株比率
有限会社ジャスト		885,600	9.78%
田中克尚		477,188	5.27%
ニチダイ従業員持株会		453,144	5.00%
中棹知子		282,600	3.12%
永井詳二		270,000	2.98%
古屋啓子		252,600	2.79%
京都中央信用金庫		220,000	2.43%
株式会社三菱UFJ銀行		217,600	2.40%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)		200,300	2.21%
大阪中小企業投資育成株式会社		154,000	1.70%

役員 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長執行役員 伊藤 直紀
取締役 中村 篤人 ニチダイフィルタ株式会社 代表取締役社長
兼 タイ・シンタードメッシュ社長
取締役 山根 隆義 監査等委員(常勤)
社外取締役 陰地 弘和 監査等委員
社外取締役 竹田 千穂 監査等委員

所有者別分布



所有者別株式数分布

